

2017（平成 29）年度「共同生活ほいーる」事業報告

はじめに

一昨年に「さざん荘」が開所し、一年が経ちました。強度行動障害の方の支援を手探りながら進めてまいりました。同法人内の事業所と連携しながら、日々、入居されている方への対応を行なっております。障害の特性に応じた対応を行うことで、少しずつではありますが、他の居住地においても必要に応じて個別の対応が行えるようになってきました。

また、今年度は社会福祉協議会の福祉サービス評価調査（第三者評価）を受け、入居者への細かな対応について高い評価を受けました。しかしながら、業務の文章化・手順書・マニュアル類の整備がなされていない点について指摘を受けました。今回の評価を受け、業務の文章化の重要性に気が付くことができました。現在行っている業務の振り返りや見直しを行っていきます。

近年表面化してきた問題点として、保護者の高齢化に伴い、保護者の入院や介護サービスの利用、体調不良・体力低下による休日対応の困難な状況も出てきており、ますますグループホームの重要性を感じております。しかしながら、入居者の将来や老後の対応については、まだまだ十分な体制とは言えず、今後の課題として取り組む所存です。

1、事業の実施状況

- (1) 共同生活援助事業
- (2) 定員 32 名
- (3) 居住地の状況

現在 5ヶ所（4居住地、賃貸物件 1居住地、法人所有）

居住地	所在地	構造	定員
来いこいハウス	神辺町下御領	木造二階建	6名
かねしろ荘	神辺町新湯野	木造二階建	5名
とのまちハウス	神辺町川南	木造二階建	10名
みなみの荘	神辺町川北	木造二階建	6名
さざん荘	神辺町新湯野	木造二階建	5名

2、入居者（利用者）の状況

- (1) 現員 32 名

①男女人数 男性 21名 女性 11名

②男女別年齢構成

	20歳代～	30歳代～	40歳代～	50歳代～	60歳代～
男性	1名	8名	9名	2名	1名

女 性	—	2名	7名	2名	—
-----	---	----	----	----	---

(2) 入所・退所及び居住地移動の状況

- 4月 みなみの荘 男性 退去
8月 とのまちハウスよりみなみの荘へ転居 男性
9月 来いこいハウス 男性 退去
12月 とのまちハウス 女性 入居
3月 来いこいハウス 男性 入居

(3) 障害の状況

療育手帳（知的）	最重度 0人	重度 11人	中度 9人	軽度 9人
精神保健福祉手帳	1級 0人	2級 3人	3級 0人	4級以下1人
身体障害者2級（療育手帳重複）3名 4級1名				

(4) 障害支援区分

障害支援区分	6	5	4	3	2	1	小計
来いこいハウス		2名	2名	1名	1名		6名
かねしろ荘		1名	1名		3名		5名
とのまちハウス	3名	1名	3名	2名	1名		10名
みなみの荘			1名	3名	2名		6名
さざん荘	2名		2名		1名		5名

障害支援区分の平均 **3.75** 平成30年3月末
 3.6 平成29年3月末

3、 福祉事業の状況

(1) 利用状況

	現員	延べ利用日数	利用率
来いこいハウス	6人	1,844日	86.0%
かねしろ荘	5人	1,734日	95.0%
とのまちハウス	10人	3,294日	90.2%
みなみの荘	6人	2,035日	92.9%
さざん荘	5人	1,645日	90.1%
合計	32人	10,552日	90.8%

(2) 利用率について

入居者一人一人の利用率は95%程度で推移するものの、今年度は来いこいハウスが6ヶ月、とのまちハウスで3ヶ月の空室があったことによりホーム合計の利用率としては上記の数字となっています。休日の実家への帰省が困難な利用者が増えているため、次年度は休日の利用状況によって、土日の対応を検討する必要があります。

(3) 日常生活上の支援

①食事の提供

大勢での食事を楽しむ方がいる一方で、他者の動きや言動に対して影響を受けやすい方もいるため、提供時間の変更を行いました。また、日常的な健康管理や生活習慣病対策として調味料を減塩のものや食事摂取量の調整等を行ないました。

②医療にかかる支援

定期の通院や緊急時の受診、服薬管理など個別に対応しました。病院から退院されると同時に入居する方が増えてきており、医療との連携を行いました。今後、入居者の高齢化にともない、ますます医療との連携は必要になってくると思われます。

③金銭管理について

入居者の収入や使い方に応じて、個別に対応しました。基本的には入居者の要望を尊重した上で、必要物品の購入時には適切な購入が行えるよう適宜助言を行いました。支出に関しても収入とバランスが取れるよう適宜助言を行いました。

④社会参加について

ホーム毎の町内会活動として溝掃除や町内の清掃に参加しました。
ホーム単位での外食や地域の祭りへ参加しました。
後援会組織主催の地域との交流会に参加し、地域の方との交流を楽しみました。

⑤保健衛生について

日々の清潔保持に関しては、入浴・歯磨き・爪切り・衣類や寝具の洗濯等を行なっています。また、各ホームに消毒液を設置し、支援を行う際の手指消毒を徹底しました。

4、 運営について

(1) 訓練等給付費収入と報酬単価について

①自立支援費等収入について

単位・・・円

年度	訓練等給付費収入	増減比率
2018.3 (H29 年度)	76,017,470	16%増
2017.3 (H28 年度)	65,230,234	

②報酬単価について

単位・・・円

障害支援区分	6	5	4	3	2	1
共同生活サービス費 (I)	6,680	5,520	4,710	3,850	2,950	2,590
夜間支援等体制加算 (I)	とのまちハウス (10 人)				1,490/日	
	来いこいハウス (6 人)				2,240/日	
	かねしろ荘 (5 人)				2,690/日	

	さざん荘 (5名)	2,690/日
夜間支援等体制加算 (Ⅲ)	みなみの荘 (5人)	100/日
重度障害者支援加算	さざん荘 2名、とのまちハウス 2名	3,600/日

(2) 職員の状況について

職名	職員数 (常勤換算数)	国 基準	勤務時間
管理者	1名 (0.5)	1以上	
サービス管理責任者	1名 (1.5)	1.1以上	生活支援員兼務
生活支援員	5名 (5.5)	4.8名以上	11:00~20:00
世話人	27名 (8名)	8名	5:30~9:30 (8:30) 15:30~20:00 20:00~22:00
夜間支援員	10名 (4名)	1居住に1以上	22:00~5:30

採用者 生活支援員 1名・世話人 5名 / 退職者 生活支援員 1名・世話人 2名

(3) 利用者負担について

単位・・・円

ホーム名	家賃	食費	共益費	計
来いこいハウス	22,000~26,000	700円/当該月	14,000	51,000~55,000
かねしろ荘	25,000	700円/当該月	12,000	54,500
とのまちハウス	30,000	700円/当該月	14,000	59,500
みなみの荘	27,000	700円/当該月	12,000	56,500
さざん荘	33,000~38,000	700円/当該月	14,000	68,000~73,000

利用者からは、運営規程に記載のとおり家賃、食費、共益費を徴収しました。

※家賃に関しては特定障害者特別給付費として 10,000 円の補助があります。

(4) 研修について

- ① 世話人会議として毎月第 2 火曜日 10:00~11:00 に会議・研修を行いました。

実施回数 12回 対象職員 生活支援員 世話人

4月 情報共有と新年度の抱負	10月 支援者の思いと利用者の思い
5月 個別支援計画について 1	11月 共同生活ほいーるの役割
6月 個別支援計画について 2	12月 高次脳機能障害について
7月 わかりやすい支援について	1月 防災について
8月 虐待防止の為のリフレーミング	2月 一年の総括
9月 衛生管理について	3月 虐待防止について

- ② 法人研修 平成 30 年 1 月 7 日「又村あおい氏講演会」神辺育成会主催研修
午前・・・本人向け「夢について語ろう～私のやりたいこと～」

午後・・・支援者による支援のあり方

- ③ 事業所間による職員研修として8月2日から6日の5日間「にこてらす」へ、10月17日から21日の5日間「にこにこ会」にて実施。他事業所の動きを知ることで、他事業所との連携を意識するようになりました。

- ④ 外部研修への参加

4月12・13日	社会福祉施設新人職員研修
5月27日～11月25日	旭川荘療育アカデミー
6月30日	大人の発達障がいについて
7月20日・21日	強度行動障害支援者養成研修（実践研修）
7月24日・25日	中堅職員研修
8月3日・4日	防火管理者研修
8月5日	救急対応技術研修
10月26日・27日	サービス管理責任者フォローアップ研修
11月15日・16日	強度行動障害支援者養成研修（実践研修）
12月20日	広島県障害者虐待防止・権利擁護研修
2月5日～7日	相談支援従事者現任研修
2月23日・24日	強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）

- ⑤ 法人内での障害についての定期的な勉強会への参加

法人内の部会にて障害についての勉強会を開催しました。

(5) 防災について

- ① 防災訓練の実施

1月9日 世話人会議にて消防署指導の下、通報訓練と消火訓練を実施。

3月18日・24日・29日、各ホームにて避難訓練を実施しました。ホーム内の避難経路の確認、避難の練習を行いました。さざん荘については非常階段を利用した避難訓練を実施し、避難用出口の操作方法もに支援者間で確認しました。

- ② 消防職員による消防設備等の確認

設備等については各居室のカーテン・絨毯等の防災加工の有無や消化器の設置について確認されました。避難経路・消化設備についての指摘はありませんでした。

(6) 施設整備・修繕について

① さざん荘の駐輪場とフェンスを設置しました。

② とのまちハウスの駐車場に砂利を敷きました。（育てる会より助成）

③ みなみの荘入り口の道路を舗装しました。（家主より）

④ さざん荘1階食堂と洗面所の壁を修繕しました。（A I G保険使用）